

# Fund Report

## グローバルCBオープン

(高金利通貨コース/円コース) (マネープールファンド)

追加型投信/海外/債券 (高金利通貨コース/円コース)

追加型投信/国内/債券 (マネープールファンド) ※課税上は株式投資信託として取り扱われます。

### ーグローバルCBオープン (高金利通貨コース/円コース) 第83期分配金のお知らせー

日頃より弊社ファンドをご愛顧賜り誠にありがとうございます。

2011年11月30日に設定いたしました『グローバルCBオープン (高金利通貨コース/円コース)』におきましては11月19日に第83期の決算を行い、基準価額水準、市況動向、分配対象額等を勘案した結果、当期 (第83期) の分配金を以下の通り決定いたしました。

**第83期の分配金 (税引前、1万口あたり)**

**35円 (高金利通貨コース)**

**10円 (円コース)**

#### 分配金引下げの背景

当ファンドは2017年10月以降、株価との相関が高いCBのウエイトを高めた結果、ポートフォリオ利回りが低下しました。2017年まで概ね堅調に推移したグローバル株式市場は、2018年2月には、米国の長期金利上昇や株式相場の過熱感、貿易摩擦問題を背景とした先行き不透明感などにより下落、その後は回復へ向かいましたが、米国中間選挙後の不確実性や貿易摩擦問題など、依然価格変動性を高める要因は残っています。また、米ドルとの金利差に注目した為替取引によるプレミアム/コストの水準も低下しました。米国が利上げを継続する一方、豪州の政策金利は据え置き、ブラジルは2016年以降利下げ局面に入り政策金利は14.25%から足元では6.50%に低下しました。インドは自国通貨防衛のため6、8月に利上げを行っていますが、足元は据え置かれるなど、高金利通貨コースは為替取引によるプレミアムが減少し、対円での各通貨の為替相場も下落しています。一方、円コースは為替取引によるコストが拡大しています。

これらを踏まえ、当ファンドは、基準価額水準、分配対象額等を総合的に勘案し、分配金の水準の引き下げを行いました。高金利通貨コースは、これまで70円 (税引前、1万口あたり、以下同) としてきました分配金の水準を今期35円とし、円コースではこれまで30円としてきた分配金水準を10円としました。

※分配対象額が少額な場合等には、委託会社の判断で分配を行わないことがあります。※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。※当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくはファンドの運用方針等について、運用担当者 (ファンドマネジャー他) の見方あるいは考え方を記載したもので当該運用方針は変更される場合があり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、将来の運用成果等を約束するものではありません。

3ページ目以降の「投資リスク」と「ファンドの費用」の内容について必ずご確認ください

1/9

■当資料は、ファンドの運用状況や関連する情報等をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料です。■当資料内の運用実績等に関する数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。



資産運用のベストパートナー、だいわすみぎん

**大和住銀投信投資顧問**

Daiwa SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第353号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

# Fund Report

## グローバルCBオープン (高金利通貨コース/円コース) (マネープールファンド)

### 今後の見通し

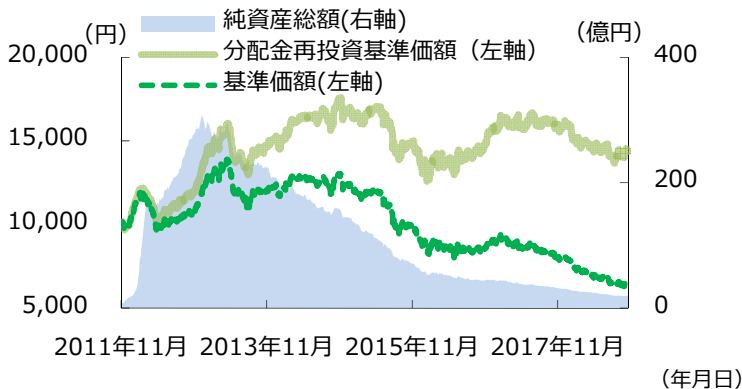
世界経済は依然として広範囲で成長を続けています。今後も、主要金利が正常化し、企業が今四半期も良好な業績を発表すると見ているなかで、CBは魅力的なリスク調整後リターンを提供する資産クラスであると考えています。また、堅調な企業業績は年末にかけての株価の下支えになると見て、引き続き魅力あるトータル・リターンを得られるよう努力してまいります。

※分配対象額が少額な場合等には、委託会社の判断で分配を行わないことがあります。※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。※当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくはファンドの運用方針等について、運用担当者（ファンドマネジャー他）の見方あるいは考え方を記載したもので当該運用方針は変更される場合があり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、将来の運用成果等を約束するものでもありません。

### <基準価額・純資産総額の推移 設定日（2011年11月30日）～2018年11月19日>

#### (高金利通貨コース)

##### ■基準価額等の推移



##### ■基準価額・純資産総額（2018年11月19日現在）

基準価額	6,462円
純資産総額	19億円

##### ■基準価額騰落率

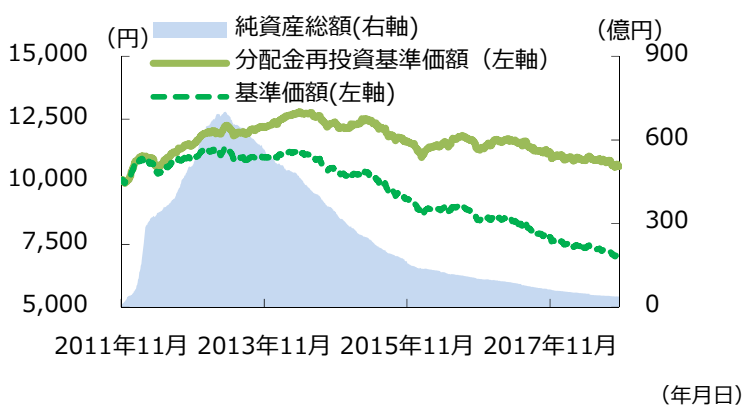
設定来	44.2%
-----	-------

##### ■分配金の推移

第80期('18/8)	70円
第81期('18/9)	70円
第82期('18/10)	70円
第83期('18/11)	35円
設定来	7,965円

#### (円コース)

##### ■基準価額等の推移



##### ■基準価額・純資産総額（2018年11月19日現在）

基準価額	7,036円
純資産総額	37億円

##### ■基準価額騰落率

設定来	6.2%
-----	------

##### ■分配金の推移

第80期('18/8)	30円
第81期('18/9)	30円
第82期('18/10)	30円
第83期('18/11)	10円
設定来	3,930円

※基準価額は信託報酬控除後のものです。 ※分配金再投資基準価額および騰落率は、信託報酬控除後の基準価額に対して、税引前分配金を決算日に再投資した修正基準価額をもとに算出、表示。 ※騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。 ※分配金は1万口あたりの金額（税引前） ※上記データは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。

3ページ目以降の「投資リスク」と「ファンドの費用」の内容について必ずご確認ください

2/9

■当資料は、ファンドの運用状況や関連する情報等をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料です。■当資料内の運用実績等に関する数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

# Fund Report

## グローバルCBオープン (高金利通貨コース/円コース) (マネープールファンド)

### <各コース（マネープールファンドを除く）の目的>

当ファンドは、新興国を含む世界の企業が発行する転換社債（CB）等を実質的な投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

### <各コース（マネープールファンドを除く）の特色>

1. 新興国を含む世界の企業が発行する転換社債（CB）等へ実質的に投資することでインカムゲインの確保と信託財産の中長期的な成長を目指します。
2. 為替取引手法の異なる2つの通貨コースとマネープールファンドがあり、各ファンド間でスイッチングが可能です。
3. 毎月の決算日に、原則として収益の分配を目指します。
  - ・各コースの決算日は、毎月の19日（休業日の場合は翌営業日）とします。
  - ・分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。
  - ・収益分配金は、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、分配対象額が少額な場合等には、分配を行わないことがあります。
  - ・将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

※資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

### <各コース（マネープールファンドを除く）の投資リスク> (詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください)

- 各コースは、投資信託証券を通じて実質的に転換社債（CB）など値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。また、外貨建資産は、為替の変動による影響も受けます。したがって、投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- 投資信託は預貯金と異なります。
- お申し込みの際には、販売会社からお渡しします「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 各コース（マネープールファンドを除く）の基準価額を変動させる要因として主に、
  - ・転換社債（CB）投資のリスク（価格変動リスク・金利変動リスク・信用リスク）・流動性リスク・為替リスク
  - ・カントリーリスク があります。
 ただし、上記はすべてのリスクを表したものではありません。

次ページに続きがあります。必ずご確認ください。



# Fund Report

## グローバルCBオープン (高金利通貨コース/円コース) (マネープールファンド)

### <マネープールファンドの目的>

当ファンドは、安定した収益の確保を図ることを目的として、運用を行います。

### <マネープールファンドの特色>

1. マネープールファンドは、キャッシュ・マネジメント・マザーファンドへの投資を通じて、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。
    - ・マネープールファンドのお買付けは、マネープールファンドを除くグローバルCBオープンのファンドからスイッチングした場合に限定します。また、グローバルCBオープンに新たなファンドが追加された場合は、当該ファンドがスイッチングによるお買付け対象ファンドに追加されることがあります。
  2. マネープールファンドの決算日は、毎年5月、11月の19日（休業日の場合は翌営業日）とします。
    - ・分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。
    - ・収益分配金は、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、分配対象額が少額な場合等には、分配を行わないことがあります。
    - ・将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- ※資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

### <マネープールファンドの投資リスク> (詳しくは最新の投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください)

- マネープールファンドは、マザーファンドを通じて、実質的に債券など値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
  - 信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
  - 投資信託は預貯金と異なります。
  - お申し込みの際には、販売会社からお渡しします「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
  - マネープールファンドの基準価額の変動要因として主に、・流動性リスク・金利変動に伴うリスク・信用リスクがあります。
- ただし、上記の説明はすべてのリスクを表したものではありません。

# Fund Report

## グローバルCBオープン (高金利通貨コース/円コース) (マネープールファンド)

下記は投資信託における「収益分配金に関する留意事項」を説明するものであり、当ファンドの分配金額や基準価額を示すものではありません。

### 収益分配金に関する留意事項

分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が  
支払われるイメージ

投資信託の純資産

分配金

(イメージ図)

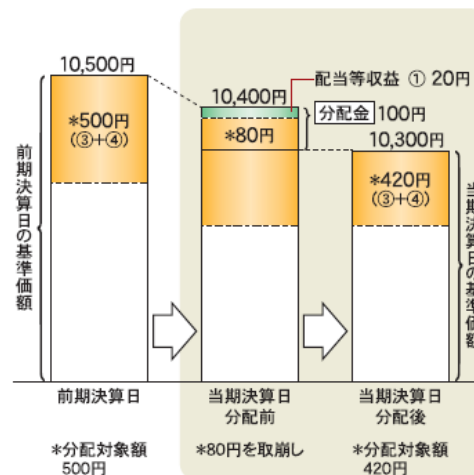
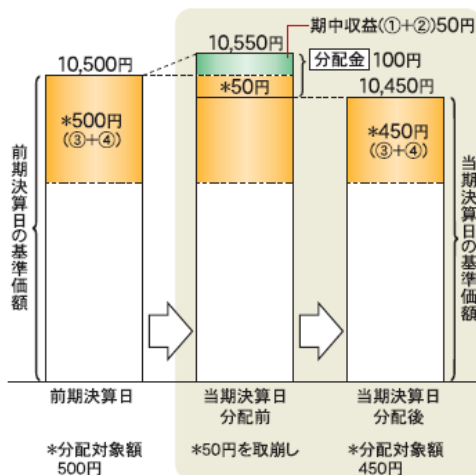
分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

#### 分配金が計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

(イメージ図)

##### 前期決算日から基準価額が上昇した場合

##### 前期決算日から基準価額が下落した場合



(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益 および ②経費控除後の評価益を含む売買益 ならびに ③分配準備積立金 および ④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

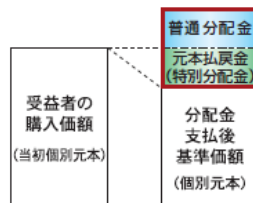
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

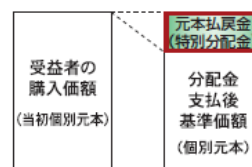
(イメージ図)

#### 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

#### 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。



普通分配金：個別元本(受益者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金)：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

3ページ目以降の「投資リスク」と「ファンドの費用」の内容について必ずご確認ください

5/9

■当資料は、ファンドの運用状況や関連する情報等をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料です。■当資料内の運用実績等に関する数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

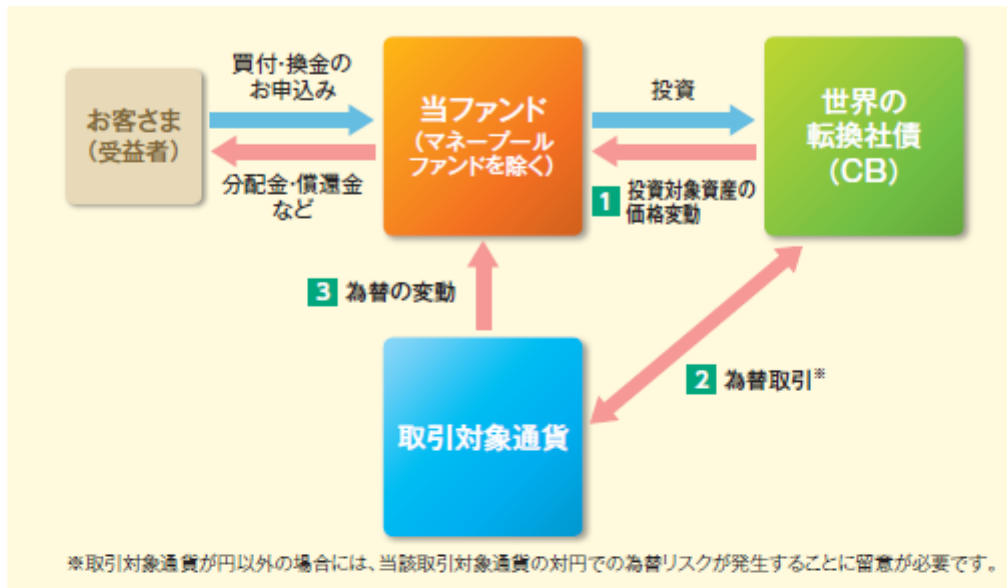
# Fund Report

## グローバルCBオープン (高金利通貨コース/円コース) (マネープールファンド)

### 通貨選択型ファンドの収益のイメージ

当ファンド(マネープールファンドを除く)は主に世界の転換社債(CB)への投資に加えて、為替取引を活用して運用を行うよう設計された投資信託です。

#### ●当ファンド(マネープールファンドを除く)のイメージ図



#### ●当ファンド(マネープールファンドを除く)の収益の源泉は以下の3つの要素が挙げられます。

これらの収益の源泉に相応してリスクが内在していることに注意が必要です。

収益の源泉	収益を得られるケース	損失やコストが発生するケース
<b>1</b> 世界の転換社債 (CB) の利息収入、値上がり/値下がり	転換社債 (CB) 価格の上昇 転換対象株式の株価上昇 金利低下 発行体の信用力上昇 など	転換社債 (CB) 価格の下落 転換対象株式の株価下落 金利上昇 発行体の信用力低下 など
<b>2</b> 為替取引によるプレミアム/コスト	プレミアム (金利差相当分の収益) の発生 取引対象通貨の短期金利 > 米ドルの短期金利	コスト (金利差相当分の費用) の発生 取引対象通貨の短期金利 < 米ドルの短期金利
<b>3</b> 為替差益/差損	為替差益の発生 取引対象通貨に対して円安	為替差損の発生 取引対象通貨に対して円高

※円コースは、原則として対円での為替取引を行い為替変動リスクの低減に努めます。  
 ※過去の事実から見た一般的な傾向を表したものであり、上記のとおりにならない場合があります。

3ページ目以降の「投資リスク」と「ファンドの費用」の内容について必ずご確認ください

6/9

■当資料は、ファンドの運用状況や関連する情報等をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料です。■当資料内の運用実績等に関する数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。



# Fund Report

## グローバルCBオープン (高金利通貨コース/円コース) (マネープールファンド)

### <ファンドの費用> (詳しくは最新の投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください)

#### 投資者が直接的に負担する費用

##### ● 購入時手数料

[各コース]

購入価額に3.78%(税抜3.5%)を上限として販売会社毎に定めた率を乗じて得た額とします。

※各コースの購入時手数料(スイッチングの際の購入時手数料を含みます。)については、お申込みの各販売会社までお問い合わせください。

購入時手数料は、販売会社による商品・投資環境の説明および情報提供、ならびに販売の事務等の対価です。

[マネープールファンド]

ありません。

※マネープールファンドへの取得申込みは、スイッチングの場合に限ります。

※スイッチングのお取扱いについては、各販売会社までお問い合わせください。

##### ● 信託財産留保額

ありません。

#### 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

##### ● 運用管理費用

(信託報酬)

[各コース]

毎日、信託財産の純資産総額に年率1.053%(税抜0.975%)を乗じて得た額とします。運用管理費用(信託報酬)は、毎計算期末または信託終了のときに、信託財産から支払われます。

##### <運用管理費用(信託報酬)の配分>

当該ファンドの運用管理費用(信託報酬)		
委託会社	年率0.35%(税抜)	ファンドの運用等の対価
販売会社	年率0.60%(税抜)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
受託会社	年率0.025%(税抜)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
投資対象とする投資信託証券	年率0.67%程度*	投資対象とする投資信託証券の管理報酬等
実質的な負担	年率1.723%(税込)程度	—

※当ファンドが投資対象とする投資信託証券の管理報酬等には関係法人により下限金額が設定されているものがあります。

[マネープールファンド]

毎日、信託財産の純資産総額に年率0.648%(税抜0.60%)以内の率を乗じて得た金額とします。

運用管理費用(信託報酬)は、毎計算期末または信託終了のときに、信託財産から支払われます。

##### <運用管理費用(信託報酬)の配分>

	純資産総額に上記の率を乗じて得た額を下記の比率で配分します。	—
委託会社	45%	ファンドの運用等の対価
販売会社	45%	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
受託会社	10%	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価

# Fund Report

## グローバルCBオープン (高金利通貨コース/円コース) (マネープールファンド)

前ページからの続きです。

- その他の費用・手数料 財務諸表の監査に要する費用、有価証券売買時の売買委託手数料、外国における資産の保管等に要する費用等は信託財産から支払われます。  
※監査報酬の料率等につきましては請求目論見書をご参照ください。監査報酬以外の費用等につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※前頁及び上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

### <お申込みメモ（詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください）>

- 信託期間 2011年11月30日～2021年11月19日（約10年）
- 購入単位 販売会社がそれぞれ定めた単位とします。  
※お申込みの販売会社までお問い合わせください。
- 購入価額 購入申込受付日の翌営業日の基準価額
- 換金単位 販売会社がそれぞれ定めた単位とします。  
※お申込みの販売会社までお問い合わせください。
- 換金価額 換金申込受付日の翌営業日の基準価額
- 換金代金 換金申込受付日から起算して、原則として7営業日目からお支払いします。
- 購入・換金申込受付不可日 各コースにつき、ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行、英国証券取引所またはロンドンの銀行の休業日と同日の場合、および12月24日はお申込みできません。
- 決算日 [各コース]  
毎月19日（該当日が休業日の場合は翌営業日）  
[マネープールファンド]  
毎年5月、11月の19日（該当日が休業日の場合は翌営業日）
- 収益分配 [各コース]  
年12回の決算時に分配を行います。  
[マネープールファンド]  
年2回の決算時に分配を行います。

### <投資信託に関する留意点>

- 投資信託をご購入の際は、投資信託説明書（交付目論見書）を必ずご覧ください。  
投資信託説明書（交付目論見書）は販売会社の本支店等にご用意しております。
- 投資信託は、元本保証、利回り保証のいずれもありません。
- 投資した資産の価値が投資元本を割り込むリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負うことになります。
- 投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

3ページ目以降の「投資リスク」と「ファンドの費用」の内容について必ずご確認ください

8/9

■当資料は、ファンドの運用状況や関連する情報等をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料です。■当資料内の運用実績等に関する数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。



# Fund Report

## グローバルCBオープン (高金利通貨コース/円コース) (マネープールファンド)

### <委託会社およびその他の関係法人>

- 委託会社（ファンドの運用の指図を行う者）  
大和住銀投信投資顧問株式会社      金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第353号  
加入協会／一般社団法人 投資信託協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会
- 受託会社（ファンドの財産の保管及び管理を行う者）  
三井住友信託銀行株式会社
- 販売会社

取扱販売会社名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第20号	○			
株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第54号	○		○	○

※販売会社によっては、お取り扱いを行っていないコースがあります。詳しくは各販売会社にお問い合わせください。 (50音順)